



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システム・テクノロジー・アイ
コード番号 2345 URL <http://svstech-i.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

(氏名) 松岡 秀紀
(氏名) 内山 富士子

TEL 03-5148-0400

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	212	6.2	△11	—	△13	—	△20	—
24年3月期第1四半期	199	△31.8	△28	—	△30	—	△29	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △20百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1,532.37	—
24年3月期第1四半期	△2,219.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,439	1,272	87.9
24年3月期	1,430	1,292	89.9

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,265百万円 24年3月期 1,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	501	21.0	△14	—	△19	—	△20	—	△1,509.98
通期	1,077	21.5	22	—	14	—	6	—	462.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	13,353 株	24年3月期	13,353 株
25年3月期1Q	21 株	24年3月期	21 株
25年3月期1Q	13,332 株	24年3月期1Q	13,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や個人消費の回復など内需を中心に企業の景況感が幅広い分野で改善してきております。

当社グループでは、新たに策定した中長期計画「Challenge20」の実現に向けて平成25年3月期をスタートいたしました。5月には、当社完全子会社である株式会社SEプラスの事業拠点を当社に統合し、それぞれの営業活動を支援する体制を整えてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、212百万円（前年同期比6.2%増）、営業損失11百万円（前年同期は28百万円の損失）、経常損失13百万円（前年同期は30百万円の損失）、四半期純損失20百万円（前年同期は29百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

〔iLearning事業〕

iLearning事業につきましては、前期に引き続きペーパーレスソリューション製品のリスティング広告や法人向けの製品紹介セミナーなどを定期的に開催し認知度向上に努めました。またコンテンツにつきましては、IT技術者向けを中心とした豊富なコンテンツの提供をしておりますが、企業ごとの独自のコンテンツ需要が高まっており、企業のニーズに速やかに対応できる体制作り注力してまいりました。iStudy Enterprise関連の売上高については、第1四半期に予定していた一部の案件が第2四半期にずれ込んだものの、ほぼ計画通りに推移いたしました。受験チケットを中心とした仕入商品の売上については、前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

その結果、売上高92百万円（前年同期比11.4%減）、セグメント損失16百万円（前年同期は19百万円の損失）となりました。

〔Learning事業〕

Learning事業につきましては、新たに春向け内定者研修の大型案件の受注があったことと、オラクル定期研修売上が前年同期比7.9%増加したことにより売上高は順調に推移いたしました。

その結果、売上高85百万円（前年同期比21.5%増）、セグメント利益8百万円（前年同期は0.2百万円の利益）となりました。

〔人材紹介・派遣事業〕

人材紹介・派遣事業につきましては、IT技術者向けのキャリアアップコミュニティサイト「SE倶楽部」の会員増加に注力いたしました。雇用情勢は、まだまだ厳しい状況が続いているものの利益率の高い人材紹介案件が計画通り推移し、売上高、利益は前年同期に比べ大幅に改善されました。

その結果、売上高33百万円（前年同期比37.7%増）、セグメント利益5百万円（前年同期は2百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて8百万円増加し、1,439百万円となりました。これは、主な増加では現金及び預金33百万円、有形固定資産7百万円の増加であり、主な減少では、売掛金23百万円の減少、のれんの償却額8百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて28百万円の増加となりました。主な増加要因は、前受収益25百万円の増加であります。純資産は、前連結会計年度末に比べて20百万円減少し1,272百万円となりました。これは、主に利益剰

余金20百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月27日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に関しましては、現時点においては変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	524,110	558,096
売掛金	128,160	104,381
有価証券	10,124	10,125
商品及び製品	2,561	6,649
仕掛制作費	1,117	—
前払費用	14,808	19,544
関係会社短期貸付金	150,000	150,000
その他	6,726	4,650
貸倒引当金	△174	△245
流動資産合計	837,434	853,201
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,599	13,170
工具、器具及び備品（純額）	13,913	15,084
リース資産（純額）	3,380	3,185
有形固定資産合計	23,893	31,439
無形固定資産		
のれん	498,867	490,689
ソフトウェア	21,894	20,483
その他	1,369	1,320
無形固定資産合計	522,131	512,493
投資その他の資産		
敷金及び保証金	46,108	41,350
その他	2,986	2,959
貸倒引当金	△2,116	△2,116
投資その他の資産合計	46,979	42,193
固定資産合計	593,004	586,127
資産合計	1,430,439	1,439,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,788	32,316
未払金	30,078	28,180
前受金	9,872	10,869
前受収益	53,833	79,607
未払法人税等	1,831	3,359
未払消費税等	6,950	4,164
その他	6,555	5,443
流動負債合計	134,910	163,942
固定負債		
繰延税金負債	23	2
退職給付引当金	708	816
リース債務	2,730	2,525
固定負債合計	3,462	3,344
負債合計	138,372	167,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,234	347,234
資本剰余金	982,682	982,682
利益剰余金	△42,977	△63,407
自己株式	△750	△750
株主資本合計	1,286,189	1,265,759
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	—	—
新株予約権	5,877	6,283
純資産合計	1,292,067	1,272,042
負債純資産合計	1,430,439	1,439,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	199,913	212,286
売上原価	117,076	120,186
売上総利益	82,837	92,099
販売費及び一般管理費		
役員報酬	16,225	13,593
給料手当及び賞与	38,643	36,406
法定福利費	6,230	5,772
広告宣伝費及び販売促進費	3,549	3,815
賃借料	9,118	6,815
支払報酬	6,019	5,669
減価償却費	4,448	2,171
のれん償却額	8,178	8,178
その他	19,252	21,368
販売費及び一般管理費合計	111,665	103,791
営業損失(△)	△28,828	△11,691
営業外収益		
受取利息	486	482
無効ユニット収入	29	201
その他	13	154
営業外収益合計	530	838
営業外費用		
証券事務取扱手数料	2,000	2,165
その他	282	870
営業外費用合計	2,283	3,036
経常損失(△)	△30,581	△13,889
税金等調整前四半期純損失(△)	△30,581	△13,889
法人税、住民税及び事業税	118	2,836
法人税等調整額	△1,110	3,703
法人税等合計	△991	6,540
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29,589	△20,429
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△29,589	△20,429

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29,589	△20,429
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△29,589	△20,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,589	△20,429
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	104,845	70,623	24,444	199,913	—	199,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	138	2,688	2,827	△2,827	—
計	104,845	70,762	27,133	202,741	△2,827	199,913
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△19,524	215	△2,125	△21,434	△7,393	△28,828

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△7,393千円には、セグメント間取引消去784千円、のれん償却額△8,178千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	92,858	85,778	33,649	212,286	—	212,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,342	3,342	△3,342	—
計	92,858	85,778	36,991	215,628	△3,342	212,286
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△16,755	8,070	5,058	△3,626	△8,064	△11,691

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△8,064千円には、セグメント間取引消去113千円、のれん償却額△8,178千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴

い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。